

【第1部】基礎 (Q1~Q20)

- Q1. ▶ 答え：ア 「じ」は推量の助動詞「む」とちょうど打消の関係に立つ。意味は打消推量「～ないだろう」・打消意志「～まい」の2つだけ。
- Q2. ▶ 答え：イ 推量「～だろう」を打ち消して「～ないだろう」。主語が三人称のときの意味。
- Q3. ▶ 答え：ウ 意志「～しよう」を打ち消して「～まい・～ないつもりだ」。主語が一人称のときの意味。
- Q4. ▶ 答え：ア 「上ら+じ」「漏らさ+じ」のように、直前の活用語は必ず未然形になる。
- Q5. ▶ 答え：エ 「じ」は形が変わらない無変化型。終止形・連体形・已然形の3つともすべて「じ」のまま。
- Q6. ▶ 答え：イ 「じ」にあるのは終止形・連体形・已然形の3つだけ。未然形・連用形・命令形は「〇」（存在しない）。
- Q7. ▶ 答え：ウ 一人称→打消意志「～まい・～ないつもりだ」。見分け方は「む」と同じ。
- Q8. ▶ 答え：ア 三人称（自分以外の人・物）→打消推量「～ないだろう」。
- Q9. ▶ 答え：ウ 「む」（推量・意志）の打消版が「じ」（打消推量・打消意志）。見分け方まで対応している。
- Q10. ▶ 答え：ア 主語が「われ」（一人称）なので打消意志。「都へは上るまい」。
- Q11. ▶ 答え：イ 主語は「神」（三人称）なので打消推量。「お許しにならないだろう」。直前の「たまは」は未然形。
- Q12. ▶ 答え：エ 「じ」は未然形接続。四段動詞「上る」の未然形は「上ら」。
- Q13. ▶ 答え：ア 「じ」は未然形接続なので、下二段動詞「忘る」の未然形「忘れ」に付いた形。
- Q14. ▶ 答え：ウ カ変「来」の未然形は「こ」。未然形接続の「じ」が付くので「こじ」と読む。
- Q15. ▶ 答え：イ イは主語が「われ」（一人称）なので打消意志「忘れまい」。ア・ウは主語が人・身（三人称）で打消推量。
- Q16. ▶ 答え：エ 一人称なら意志（む）⇔打消意志（じ）、三人称なら推量（む）⇔打消推量（じ）ときれいに対応する。
- Q17. ▶ 答え：ア 打消推量と打消意志の2つだけ。覚えることが少ないのが「じ」の特徴（「まじ」は6つ）。
- Q18. ▶ 答え：イ ラ変動詞「あり」の未然形「あら」+「じ」。「じ」は未然形接続。
- Q19. ▶ 答え：エ 主語「人」は三人称なので打消推量。「雨がひどく降るので、今夜は人も来ないだろう。「来じ」は「こじ」と読む。
- Q20. ▶ 答え：ウ 主語が「われ」（一人称）なので打消意志。「忘れまい・忘れないうつもりだ」。

【第2部】標準 (Q21~Q50)

- Q21. ▶ 答え：エ 主語「われ」（一人称）→打消意志。「人には語るまい」。
- Q22. ▶ 答え：ア 主語「舟」（三人称・物）→打消推量。「舟は出ないだろう」。
- Q23. ▶ 答え：イ 副詞「よも」は「じ」と呼応して打消を強める。「まさか～ないだろう」。
- Q24. ▶ 答え：エ 「よも～じ」=まさか～ないだろう。主語「雨」（物）なので打消推量。
- Q25. ▶ 答え：ウ 無変化型なので、終止形・連体形・已然形の3つともすべて「じ」のまま。
- Q26. ▶ 答え：エ 「こそ」の結びは已然形。形は「じ」のままだが、文法上は已然形として扱う。

- Q27. ▶ 答え：ア 「ぞ・なむ・や・か」の結びは連体形。無変化型なので形は「じ」のまま変わらない。
- Q28. ▶ 答え：イ 引用の「と」の上は文末扱いなので終止形。「行かじ、と思ふ」の「じ」は終止形。
- Q29. ▶ 答え：ウ 「ず」は事実をそのまま打ち消す「～ない」。「じ」は「～ないだろう・～まい」と推量・意志をまるごと打ち消す。
- Q30. ▶ 答え：ア 「ず」は「ず・ね」などと形を変えるが、「じ」は無変化型で「じ」のまま。
- Q31. ▶ 答え：イ 「知らず」＝（実際に）知らない（事実の打消）。「知らじ」＝知らないだろう（三人称）・知るまい（一人称）。
- Q32. ▶ 答え：ウ 「じ」は已然形も「じ」のまま。「行かねば」の「ね」は打消「ず」の已然形。
- Q33. ▶ 答え：エ 「ねば」＝已然形＋ば（～ないので）。已然形「ね」を持つのは打消「ず」。「じ」は形を変えない。
- Q34. ▶ 答え：イ 主語「花」（三人称・物）→打消推量。「咲かないだろう」。
- Q35. ▶ 答え：エ 主語「われ」（一人称）→打消意志。カ変「来」の未然形は「こ」なので「来じ」は「こじ」。
- Q36. ▶ 答え：ア 「じ」は未然形接続なので、上一段「見る」の未然形「見」に付いている。
- Q37. ▶ 答え：ウ サ変「す」の未然形は「せ」。せ＋じ＝「せじ」。
- Q38. ▶ 答え：イ ナ変「死ぬ」の未然形は「死な」。死な＋じ＝「死なじ」。
- Q39. ▶ 答え：ウ 「よも～じ」＝まさか～ないだろう。主語「かの人」（三人称）なので打消推量。
- Q40. ▶ 答え：イ 「む」（意志）＝～しよう ⇔ 「じ」（打消意志）＝～まい。ちょうど裏返しの関係。
- Q41. ▶ 答え：ウ 「む」も一人称なら意志・三人称なら推量。「じ」はその打消版なので見分け方が同じ。
- Q42. ▶ 答え：エ 心の中のことばでは、思っている本人（男）＝一人称が基準。「帰るまい」という打消意志。
- Q43. ▶ 答え：ウ 「まじ」は6つ（打消推量・打消意志・不可能・打消当然・禁止・不適當）。「じ」は2つだけ。
- Q44. ▶ 答え：ア 「じ」の2つ（打消推量・打消意志）に、不可能・打消当然・禁止・不適當が加わって6つになる。
- Q45. ▶ 答え：ウ 「じ」＝ひかえめな打消、「まじ」＝強い打消（確信・禁止まで）。
- Q46. ▶ 答え：イ 「む⇔じ」「べし⇔まじ」のペア。「べし」の打消版が「まじ」。
- Q47. ▶ 答え：エ 「まじ」は終止形接続（ラ変型には連体形）。未然形接続の「じ」との大きな違い。
- Q48. ▶ 答え：ア 「行か」（未然形）＋じ、「行く」（終止形）＋まじ。接続の違いがそのまま識別の手がかり。
- Q49. ▶ 答え：イ イは主語「雪」（物）→打消推量「消えないだろう」。ア・ウは話し手・心内の一人称で打消意志。
- Q50. ▶ 答え：エ エが誤り。事実の打消は「ず」。「じ」は推量・意志の打消「～ないだろう・～まい」。

### 【第3部】応用（Q51～Q80）

- Q51. ▶ 答え：イ 会話文の中の主語は話し手の翁自身（一人称）→打消意志。「放すまい」。
- Q52. ▶ 答え：ウ 主語「戸」（物＝自分以外）→打消推量。「開かないだろう」。
- Q53. ▶ 答え：イ 「同じ」はシク活用の形容詞で一語。「じ」だけを取り出して助動詞としない。
- Q54. ▶ 答え：エ 「いみじ」「すさまじ」はシク活用形容詞。直前が未然形になっていないことから助動詞「じ」でないといわかる。
- Q55. ▶ 答え：ア 「ある（ラ変連体形）＋まじき」。「まじ」は終止形接続だがラ変型には連体形に付く。助動詞「じ」ではない。

- Q56. ▶ 答え：エ エは「行か」（未然形）＋じ。アは形容詞「いみじ」、イは形容詞「同じ」、ウは「まじ」の一部。
- Q57. ▶ 答え：エ 副詞「え」＋打消の語＝不可能。「じ」なので「～できないだろう」と推量を含む。
- Q58. ▶ 答え：イ 「言は＋せ＋じ」。「じ」は未然形接続なので、使役「す」も未然形「せ」になっている。
- Q59. ▶ 答え：イ 使役「せ」＋打消意志「じ」。話し手自身の「言わせまい」という意志。
- Q60. ▶ 答え：ア 「忘ら（四段未然形）＋れ（受身「る」の未然形）＋じ」。「じ」の直前は必ず未然形。「忘れられまい」。
- Q61. ▶ 答え：ウ 係助詞「こそ」の結びなので已然形。無変化型なので形は「じ」のまま。
- Q62. ▶ 答え：イ 疑問・反語の係助詞「か」の結びなので連体形。「この花を愛でない人があろうか（いや、みな愛でる）」。
- Q63. ▶ 答え：ア 引用の「とて（と）」の上は文末扱いなので終止形。
- Q64. ▶ 答え：ウ 「とて」の中身は話し手自身のことば（一人称）→打消意志。「越えるまい」。
- Q65. ▶ 答え：ア 「忘れじ」は相手が誓った「（あなたを）忘れまい」ということば。言った本人が主語＝一人称なので打消意志。
- Q66. ▶ 答え：イ 「負けまい」と思って打つべきだ、の意。打ち手自身の意志＝打消意志。「勝たん（勝とう）」との対比。
- Q67. ▶ 答え：ウ 引用の「と」の上なので終止形。
- Q68. ▶ 答え：エ 主語「われ」（一人称）→打消意志。「出るまい」。
- Q69. ▶ 答え：イ 主語「かの人」（自分以外）→打消推量。「変えないだろう」。
- Q70. ▶ 答え：エ 主語「ためし（例）」（物）→打消推量。「あら」はラ変「あり」の未然形。
- Q71. ▶ 答え：イ 主語「われ」（一人称）→打消意志。「帰るまい」。
- Q72. ▶ 答え：ウ 主語「雨」（物）→打消推量。「降り続かないだろう」。
- Q73. ▶ 答え：ウ 主語「帝」（三人称）→打消推量。「え～じ」で「おとがめになることもできないだろう」。「させたまは」は未然形。
- Q74. ▶ 答え：エ 「じ」を強くした打消が「まじ」。禁止・不可能・打消当然などまでカバーする。
- Q75. ▶ 答え：エ 未然形「あら」に付くのが「じ」、ラ変型の連体形「ある」に付くのが「まじ」。
- Q76. ▶ 答え：ウ 心内文でも基準は「じ」の付いた動作の主語。主語は「花」（物）なので打消推量。
- Q77. ▶ 答え：ア 「む」（意志）と「じ」（打消意志）が対になった形。「行こうか、行くまいか」。
- Q78. ▶ 答え：ウ 「散らじ」＝打消推量・打消意志。「散らず」は事実の打消「散らない」、「散りぬ」は完了「散ってしまった」。
- Q79. ▶ 答え：イ 已然形「じ」の代表的な使い道は「こそ」の結び。体言に続くときは連体形。
- Q80. ▶ 答え：イ 直前が未然形なら助動詞「じ」。「同じ・いみじ」（形容詞の一部）や「まじ」と区別する第一歩。

#### 【第4部】入試レベル（Q81～Q100）

- Q81. ▶ 答え：ア 話し手＝翁自身（一人称）→打消意志。「守らむ（守ろう）」⇔「渡さじ（渡すまい）」の対比。
- Q82. ▶ 答え：ウ 引用の「と」で受ける文末なので終止形。
- Q83. ▶ 答え：イ 「忘れ」の主語は「かの人」（女から見て自分以外）→打消推量。「われ」は忘れられる側（目的語）である点に注意。

- Q84. ▶ 答え：ウ 「劣るまい」と思って励む＝励む本人の意志→打消意志。「～じと（思ひて）」の形は打消意志が多い。
- Q85. ▶ 答え：エ 「かなふ」の主語は「登ること」（物）→打消推量。「思うようにはできないだろう」。
- Q86. ▶ 答え：ア 「見えねば」＝見えないので（事実の打消・已然形＋ば）。「出でじ」は話し手自身の「出るまい」（打消意志）。「じ」は「ね」と形を変えない。
- Q87. ▶ 答え：ウ 意味の数（2つ／6つ）と強さが違う。接続も未然形（じ）／終止形（まじ）で異なる。
- Q88. ▶ 答え：エ ナ変「死ぬ」の未然形は「死な」なので「死なじ」が正しい。「じ」は未然形接続。
- Q89. ▶ 答え：ア 「じ」も「ず」も未然形接続。カ変「来」の未然形「こ」に付いて「こじ」「こず」。
- Q90. ▶ 答え：ウ ウは主語「舟人」（自分以外）→打消推量。アは打消意志、イは形容詞「同じ」、エは「まじ」。
- Q91. ▶ 答え：ウ ウは「泣くまい」と思う本人の意志→打消意志。ア・イ・エは三人称主語（影・風・人）の打消推量。
- Q92. ▶ 答え：ア 「じ」は未然形接続なので、形容詞にはカリ活用の未然形「寒から」の形で付く。
- Q93. ▶ 答え：エ 答えた本人の意志＝一人称→打消意志。「行くまい」。
- Q94. ▶ 答え：エ 「じ」は推量・意志ごと打ち消し、「ず」は事実をそのまま打ち消す。
- Q95. ▶ 答え：ア 前半の主語は「われ」→打消意志、後半の主語は「よその人」→打消推量。同じ「じ」でも主語で意味が決まる。
- Q96. ▶ 答え：エ エが誤り。「じ」に命令形はない（未然形・連用形・命令形は○）。ア～ウはすべて正しい。
- Q97. ▶ 答え：イ 「恨む」は古語ではマ行上二段活用。未然形は「恨み」なので「恨み＋じ」＝「恨みじ」。
- Q98. ▶ 答え：イ 「来じ」の主語は客人（自分以外）→打消推量。「出でじ」の主語は「われ」→打消意志。
- Q99. ▶ 答え：ア 「ず」＝事実をそのまま打ち消す。「じ」＝推量・意志をまるごと打ち消す。
- Q100. ▶ 答え：ア アがすべて正しい。イは「まじ」、ウは「ず」の説明。これが「じ」識別の全体像。